



## 語り合ってみつけた わたしたちのできること

### お知らせ

これまで本広報紙は、ファイル等に綴じて保管いただけるよう、2つの穴を開けた形で発行してまいりました。しかしながら、経費の削減を目的として、今回の発行号より穴を開けない仕様へ変更させていただきます。

これまでご愛用いただいていた皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



こちらのQRコードから市議会のホームページが閲覧できます。

令和8年度一般会計予算	2～3
一般質問（代表）	4～5
一般質問（個人）、陳情	6～8
議案審議	9
発議案	10
新議員紹介、委員会の所管事項調査、 委員会の行政視察	11
Topics	12

# 一般会計584億4,000万円 使い道をチェック!



## 生活の支援

### ●結婚新生活支援事業費 1,209万6千円

結婚した世帯を対象に新生活を経済的に支援し、結婚に伴う新生活に係る住居費や引越しに係る費用の一部を補助する経費です。(年齢や所得などの要件あり)

**Q** これまでの申請件数は

**A** 令和4年度から事業が始まり、令和4年度は19件、令和5年度は23件、令和6年度は31件である。

**Q** 主な目的は

**A** 少子化対策の推進や、移住・定住の促進を主な目的とし、木更津市で結婚、出産、子育てなどに繋がっていくことを考えている。

**Q** 補助の要件に所得制限があるが、他の自治体では住む地域によって所得制限を撤廃している事例がある。本市も制限を緩和するなどの考えはあるか

**A** 国による要件の見直しや、他の自治体の状況を研究しながら、最適となる要件を考えていきたい。



### ●緊急通報装置貸与事業費 3,892万円

ひとり暮らし高齢者等の日常生活の不安を解消することを目的として、ボタンを押すだけで通報を行うことができる装置を貸与する経費です。

**Q** これまでの設置台数と令和8年度の見込み台数は

**A** 令和6年度は644台、令和7年度2月末時点で686台、令和8年度は約695台を見込んでいる。

**Q** 利用者の満足度などを、どのように捉えているか

**A** アンケート調査等を行っている訳ではないが、不満の声等はないため、有効に活用してもらっていると認識している。

また、令和8年度から費用負担が増える予定であり、現在の利用者に意向調査を実施したところ、費用が上がっても利用したいとの回答を得ている状況である。

### ●病児保育事業（特別保育事業費） 6,381万1千円

病児保育とは、子どもが病気中又は回復期で集団保育が困難な際に、看護師・保育士が一時的に看護・保育を行うものです。

※令和8年6月に、木更津市において初の病児保育施設である「木更津金田東コア病児保育室（金田東6-45-3）」の開設を予定しています。

**Q** コアラ病児保育室の1日の受入れ定員は

**A** 1日、9名の児童の受入れを上限とする予定である。

## 学校教育の充実

### ●学校給食を活用した有機米供給 促進事業費 2,200万円

「きさらづ学校給食米®(農薬・化学肥料を一切使用しない環境にやさしい栽培方法により生産したお米)」を、市内全小中学校(30校)の学校給食へ提供するため、慣行米と有機米との差額を補填する経費です。

**Q** 令和8年度の提供予定量は

**A** 年間153日のうち、91日(約6割)を予定している。

**Q** 第2給食センター設立の進捗状況は

**A** 基本構想策定に向けた、素案を作成している段階である。



### ●部活動地域移行推進事業費 21万4千円

中学校の部活動において、段階的に地域展開を進めるための経費です。

**Q** 令和7年度の取組内容は

**A** 陸上競技の部活を、試験運用として3回実施をした。1回目は、江川総合運動場の陸上競技場で実施し、62名が参加した。2回目は、畑沢中学校で実施し、28名が参加した。3回目は、JR久留里線の利用を想定して、富来田中学校で実施し、52名が参加した。

**Q** 令和8年度の予定は

**A** 令和7年度と同様に、陸上競技を対象に実施する予定である。また、陸上競技に加えて、文化部門である合唱部の実施を検討している。

# 【特集】令和8年度当初予算 「みんなの税金」

## 生活環境の充実

### ●ごみ減量化資源化諸経費 103万8千円

ごみの減量化・資源化に取り組むための経費です。

**Q** 給水スポット（無料でマイボトルに給水ができる給水機）の拡大が予定されているが、内容は

**A** 現在、16ヶ所の市の施設に設置されているが、令和8年度は、10ヶ所を追加し、合計で26ヶ所に増やす予定である。

**Q** 給水スポットの拡大の効果をどう考えるか

**A** 給水スポットの利用状況をもとに算定し、500mlのペットボトルで、約5万5,000本の削減が見込まれたと考えている。

### ●障害児通所等支援事業費 14億1,000万円

療育や訓練等が必要な児童に対し、日常生活の基本動作の指導や集団生活への適応訓練等を行う経費です。児童通所支援には、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援があります。

**Q** 令和7年度と比較して、約3億円の増額となっている理由は

**A** 対象年齢の幅が広い、放課後等デイサービスの利用者の増加による。この傾向は本市に限らず、発達支援の需要の高まりにより全国的な傾向であり、サービス体制の充実が図られているものと考え。

### ●生活路線バス維持対策費補助金 7,863万7千円

地域住民に必要なバス路線の維持を図るため、運行の維持が困難な乗合バス事業者に対し、運行に要する経費の全部又は一部を補助します。

**Q** 令和7年度の予算と比較して約2,000万円の増額となっている理由は

**A** 主な理由は、①車両更新に係る費用の増加、②物価高騰の影響による車両の修繕に係る部品代の増加、③運転士の待遇改善に係る人件費の増加である。

**Q** 補助対象路線の利用者の推移は

**A** 令和5年度は、73万2,600人、令和6年度は、77万3,629人、令和7年度は、79万2,709人である。

**Q** 今後も、物価や人件費等の高騰が懸念されるが、補助額の見直し等は検討しているか

**A** バス路線は市民生活に必要な不可欠であるため、補助金の交付は継続する必要があると考えている。一方で、貴重な財源であるため、バス事業者とともに、収支の改善に努めていく。

### ●除草・植樹帯管理事業費 8,000万円

雑草の除去や植樹帯の管理を適切に行うための経費です。

**Q** 防草シート等の施工は、何ヶ所を予定しているのか

**A** 防草シートの設置を7ヶ所、防草コンクリートの施工を1ヶ所予定している。

**Q** 優先順位の考え方は

**A** 草の繁茂によって交通に支障を及ぼす恐れがあり、かつ、交通量が多く、危険と判断される箇所を優先して実施する予定である。

## 予算審査特別委員会

4日間にわたり書類審査を行い、執行部に質疑を行うとともに、事務事業に関する改善要望を行いました。（質疑906件、要望7件）

### 委員構成 ○委員長 ○副委員長

○石井 徳亮 ○齊藤 秀樹  
吉田眞紀人／松井 晃治／重信 文彦  
安藤 順子／佐藤 修一／神蔵 五月  
重城 正義／田中 紀子／鶴岡 大治  
近藤 忍

## 地域振興

### ●ふるさと応援寄附金事業費 2億7,500万円

ふるさと納税制度を活用し、木更津市を応援してくださる方から寄附金を募り、活力あるふるさとづくりを進める事業に要する経費です。

**Q** 事業の目的は

**A** 地元特産品の周知や木更津市の魅力発信、財源の確保を目的としている。

**Q** 返礼品の内容は

**A** 地元特産品のみではなく、体験型サービスなどを取りそろえるなどして、返礼品の充実を図っている。

# 議員が聞いた! 今とこれから 代表質問

紙面の都合上、質問議員が大項目1点を  
選び、質問と答弁を掲載しています。

3月定例会では、会派の代表4人が大項目12点、  
小項目80点にわたり、代表質問を行いました。

質問議員  
顔写真下  
QRコード

## 質問議員の録画中継

質問議員の録画中継を公開  
しています

### 4年間の取組について 本市の現状認識と 評価を伺う

羅針盤代表 吾津松太郎 議員



**問** 中長期的財政見通しについて、持続可能な財政運営に向けた4年間の取組実績と評価は

**答** 企業版ふるさと納税などあらゆる財源確保に取り組んできた。結果、市税収入が過去最高となるなど、市税や寄附金収入は増加傾向である一方、地方債現在高は減少傾向であり、財政の健全性は確保されている。

**問** 多様性に配慮したまちづくりについて、取組状況の評価は

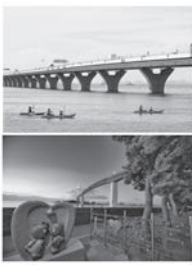
**答** HPの多言語化や各種チラシへの英語表記追加、またパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度導入後、17組の宣誓が行われ、認知の広がりや成果として受け止めている。

**問** ゴミ削減と循環型経済の推進について、4年間の取組は

**答** 公共施設への給水スポットの設置やペットボトルの水平リサイクル、家庭廃食油回収など民間事業者と連携して、循環型経済の仕組みづくりにつながる取組を実施した。市単独の取組も合わせて進めた結果、ゴミの排出量は令和3年度からの3年間で約3千トンの削減となった。

**問** マニフェストにあることも館の整備について、進捗状況は

**答** 現在の図書館跡地の活用を起点に検討を重ねており、整備候補地を検討している段階である。今後は整備方針の具体化を進めていく。



今後の市政がより  
進化したに進む  
ことを願って

### 長期化する物価高騰から 市民生活を守る 支援について

公明党代表 竹内伸江 議員



**問** 物価高騰が長期化する中、食料品や光熱費などの支出増加が家計を直撃している。この影響は消費活動の停滞を通じて地域経済にも波及し、まち全体の活力低下につながりかねない状況である。支援事業の優先順位の考え方は

**答** 第一に、生活への影響が大きい方への支援を最優先とする。子育て世帯や高齢者など、負担が重くなりやすい方々の生活維持に必要な支援に重点を置く。

第二に、市内事業者の継続支援を重視する。物価高騰による経営への影響を踏まえ、事業活動を続けられるよう、効果的な支援に取り組む。

**問** 経済的理由により学習塾や習いごと、文化・スポーツ体験

を断念せざるを得ない家庭に対し、給付金のみならず、子どもたちへの「機会の保証」をどのような方向性をもって支援していくのか

**答** 一ども計画に位置付けられた学習支援教室をはじめ、自然・文化・スポーツなどの多面的な体験機会を提供する各種施策の進行管理をしていく中で、経済状況にかかわらず、子どもたちが参加しやすい条件で各種体験プログラムが展開される「機会の保証」につながるよう、関係部署と連携して取り組む。

【 支援事業 主な交付金の活用状況 】	
【生活者への支援】	
◆生活者物価高騰対策支援給付金給付	> 全市民を対象に、1人5千円の現金給付を実施。
◆生活者物価高騰対策支援事業（第2回）	> 電子地域通貨「アリアコイン」のポイント還元キャンペーンを実施。
◆小学校・中学校給食材料費負担軽減事業（追加分）	> 学校給食の食料費高騰分の保護者負担軽減支援を実施。
【事業者への支援】	
◆事業者向け物価高騰対策支援金給付事業	> 中小企業事業者に対し、支援金給付を実施。
◆幼稚園・保育施設等支援金給付事業（第2回）	> 保育施設、幼稚園及び学童施設に対して、支援金給付を実施。

◆ 一般質問とは、議員が市の事務の状況や今後の方針などを問いただし、市民のための適切な市政運営が行われているかをチェックするものです。9月、3月定例会では、議員個人による質問に加え、会派の代表質問も実施しています。



**本会議の中継**

本会議の様子を生中継（当日のみ）、録画中継で公開しています。



**議員の情報**

連絡先等を公開しています。

また「木更津オーガニックシティフェスティバル」は、今年度で10回目の記念開催となり、過去最多となる3万人が来場し賑わいを見せた。

さらに、地域課題の解決に向けた「オーガニックシティセミナー」をこれまで18回開催し、小・中学校等への出前授業も実施している。加えて、包括連携協定の締結は23社にのぼり、新たに「連携事業提案制度」を創

設するなどの取組を進めている。

**問** これからの展望は

**答** 「暮らしやすさが誇りになるまち」の実現とウェルビーイングな地域社会を目指していく。その実現に向けて、地域にある様々な資源を循環させ「きょうろ地域循環共生圏」の創造に向けた取組を加速していく。

**問** これから改良したい、提案したい、新しい施策はあるか

**答** 東京湾岸にありながら、森・里・川・海がつながる地理的特性を強みに、農泊を柱とした体験や滞在型の里山再生に取り組んでいく。



東京湾に残された貴重な自然も生かした干潟散策もオーガニックなまちづくり

市独自の地域ブランドの確立を目的に、10年間の歩みを進めてきた。令和7年10月には、国際フォーラム「Organic Industry Forum JASARAZU」を開催した。

また「木更津オーガニックシティフェスティバル」は、今年度で10回目の記念開催となり、過去最多となる3万人が来場し賑わいを見せた。

さらに、地域課題の解決に向けた「オーガニックシティセミナー」をこれまで18回開催し、小・中学校等への出前授業も実施している。加えて、包括連携協定の締結は23社にのぼり、新たに「連携事業提案制度」を創



木更津は千葉の北欧。木更津は、Hygge(ヒュッゲ)なまち。人と人がつながり、自然豊かにやさしい日常がめぐる場所。

自由民主クラブ代表  
**斉藤 高根** 議員

オーガニックなまちづくりについて



新栄会代表  
**安藤 順子** 議員

木更津市のブランディング施策について



# 議員が聞いた! 今とこれから 一般質問

3月定例会では、個人9人が大項目17点、小項目100点にわたり、一般質問を行いました。



## 一般質問の全文(会議録)

令和8年3月定例会の会議録は令和8年5月下旬に公開予定です。また、図書館、各公民館でも閲覧することができます。



## 一般質問資料

議員が一般質問する際に使用した資料を公開しています。

**答** 情報提供やアドバイスをいただき、現場への同行もお願いしている。



違法な埋立て現場

**問** 違法な残土の埋立て等への対応について

**答** 違法な残土の埋立てへの対応は、市民からの通報や職員のパトロールにより、早期に現地確認、簡易測量などの調査を行い、事業者に行政指導を行っている。

**問** 違法な残土の埋立て等への対応は

**答** 市民からの通報や職員のパトロールにより、早期に現地確認、簡易測量などの調査を行い、事業者に行政指導を行っている。

違法な残土の埋立て等への対応について



大野 俊幸 議員



**答** 災害協定の締結に努めるとともに他自治体の事例研究をする。



石川県輪島市での研修状況

**問** 能登では援助物資が届く前に緊急物資を購入する資金が必要になり一時的に責任者個人での支払いが生じた。本市では対策を講じているか

**答** 各地区へ物資の分散備蓄を行い、まちづくり協議会の補助金でも需要に合わせた備えも進めている。

**問** 避難所に収容しきれなかった人をビニールハウスに入れたので補強用の資材が必要となるなど想定外の事態も発生していた。協力して頂ける店舗で商品を手手で後日行政が清算するような制度を構築出来ないか

**答** 能登では援助物資が届く前に緊急物資を購入する資金が必要になり一時的に責任者個人での支払いが生じた。本市では対策を講じている。

能登地震による被災地の経験を本市の災害対策に反映すべき



近藤 忍 議員



**答** 民間等との連携による技術的知見の補完や職員育成も視野に入れ、連携事業提案制度の活用も見据えながら、幅広く他の公共団体や研究機関の先事例の収集に努めていく。



学校施設点検での新技術活用

**問** 学校施設の安全確保と将来の改修費削減につなげるための、新技術活用の調査研究の進め方について伺う

**答** 施設の状況や規模に応じた有効性を見極めながら、将来の大規模改修事業費の削減効果も見据え、新技術活用の調査研究を進めていく。

**問** 民間等と連携した研究や実証、連携事業提案制度の活用について伺う

**答** 民間等との連携による技術的知見の補完や職員育成も視野に入れ、連携事業提案制度の活用も見据えながら、幅広く他の公共団体や研究機関の先事例の収集に努めていく。

学校施設の安全確保と計画的保全に向けて



松井 晃治 議員



わたなべ あつこ  
**渡辺 厚子** 議員



**防災・減災対策の強化として、  
災害時応援協定の拡充を**

**問** 令和元年房総半島台風の直後に、ふるさと応援団のC-Styleがキッチンカーで精力的に支援活動を展開していた。本市では、日頃からさまざまな行事に出店するキッチンカーが多いことから物資に関する応援協定として炊き出しに関する協定締結ができるようになるが、市の見解は

**答** 災害時に円滑な支援が受けられるよう、本市キッチンカー協会との協定締結に向けて、連携のあり方や協定内容について、調整を進めている。

**問** 締結できる目途はいつごろか

**答** 今年度内には締結できる見込みである。



キッチンカー

つるおか だいじ  
**鶴岡 大治** 議員



**保育園民営化のその後  
「覚書〇年後に更地」を問う**

**問** 令和3年に吾妻保育園が令和4年に中郷保育園と久津間保育園が民営化された。民営化の目的は何か

**答** 民間の力を活用して施設整備を待機児童を解消することである。

**問** 民間であるとなぜ施設整備が改善しやすくなるのか

**答** 民間が行う施設整備に対しては国立の整備は補助の対象とならない。

**問** 覚書には期間が満了すると更地にするとあるが

**答** 大きな負担となることは認識している。解体方法等については柔軟に相談できる体制を整える。

【民営化の成果】

	吾妻保育園	中郷保育園	久津間保育園
園児の増加数	19人	24人	33人
削減効果	1,900万円	6,400万円	4,700万円

※園児数は、令和7年4月1日  
※削減効果は、吾妻保育園4か年、中郷保育園・久津間保育園3か年

ほりきり しゅんいち  
**堀切 俊一** 議員



**木更津市も公立中学校の  
給食費無償化を  
実施すべきである**

**問** 令和8年度から公立小学校給食費の実質無償化が開始されるが、令和7年9月1日現在、千葉県54市町村のうち、23の自治体が公立中学校でも給食費無償化を実施している。

**問** 木更津市でも実施すべきではないか

**答** 国は公立中学校の給食費無償化についてもできる限り速やかに実現するとしており、国の動向を注視していく。

**問** 他の自治体は国の制度に頼らず、独自に公立中学校の給食費無償化を行っている。今後、木更津市は検討もしないのか

**答** 現段階において本市では検討することは考えていない。

**給食費の無償化に関する国の方針**

- 令和8年4月から公立小学校の児童一人につき月額5,200円を基準として給食費の支援を行います。
- 現在のところ、公立中学校の生徒への支援の時期は明確になっていません。

よしだ まきと  
**吉田 真紀人** 議員



**交通事故のないまちへ**

**問** 市内の交通事故件数は

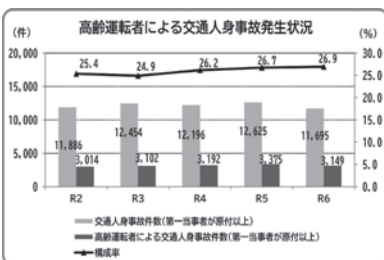
**答** 令和4年が391件、令和5年が444件、令和6年が348件。

**問** 木更津警察署管内における交通事故発生状況は

**答** 年齢層別では、幼児2件、小学生11件、中学生8件、高校生16件、24歳以下50件、高齢者188件。事故類型別では、歩行者の事故が82件、自転車の事故が50件、車対車の事故が340件。

**問** 対策は

**答** 包括連携協定を結んでいる民間会社と共同で「交通安全マップ」を作成し、活用していく。



佐藤 修一 議員



### 建物の地震対策への支援について

**問** 制度と支援策の概要は

**答** 法律に基づき耐震改修促進計画を策定し、木造住宅の診断・改修やりフォーム補助を実施した。

**問** 成果と課題は何か

**答** 住宅耐震化率は68%から88%、特定建築物も71%から89%へ向上。診断は増加する一方、改修は費用負担で伸び悩み、伴走支援を強化する。

**問** 今後の対応について

**答** 工事費高騰に対応し補助上限を最大115万円に拡充。事業者紹介や融資案内など支援を強化していく。



まずは耐震診断を！

田中 紀子 議員



### 地域交流センターへ移行 明確な基準と懸念する予約方法

**問** 営利が非営利の判断は

**答** 営利活動とは、直接的または間接的に金銭的利益を得ることを目的とし、その判断は利用申請時に行う。非営利団体が営利活動の場合は営利団体で取り扱う。

**問** 公民館では利用許可時に使用料を支払っていた。令和8年度から使用料は当日までの支払い。使用料支払い後の利用取り消しは、時期によって、全額や5割返還。利用取り消し時点で使用料を未払いの場合は、

**答** 利用取り消しは届けのみで、支払いはない。

**問** 5割返還に

設けた理由は

**答** 近隣市を参

考。

木更津市	近隣市
利用申請許可後、当日まで使用料を支払い	利用申請許可時に使用料を支払い、施設利用許可書を発行
利用日の30日前までに利用中止の届けを出した場合…全額返還 利用日の10日前までに利用中止の届けを出した場合…5割返還	納入した施設使用料は、特別な場合を除き返付できません。ただし、利用日の7日前までに利用取消の手続きをした場合は、使用料の半額を返付します。

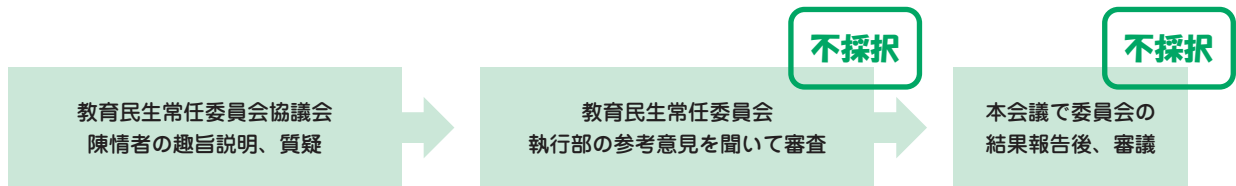
\*木更津市は、一部分を参考にしていた。

## 陳 情

### 陳情案第1号 「臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出」採択に関する陳情書

陳情者 一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章さん

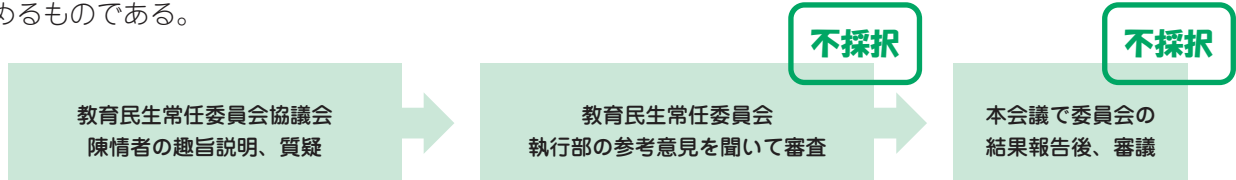
世界的に移植用臓器が不足する中、不正な臓器取引や移植目的の渡航が深刻化している状況を踏まえ、国会及び政府に対し、臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書の提出を求めるものです。



### 陳情案第2号 「mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出」採択に関する陳情書

陳情者 宇井 淳さん

mRNAワクチンは、標的細胞が特定されぬまま特例承認として接種が開始され、現時点で安全性の検討は不十分であると考えます。国に対して、mRNAワクチンの国民への接種を中止する意見書の提出を求めるものである。





## 何が変わる？ 仕組みが変わる！ 暮らしが変わる！

議案第18号 附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について

市の各種計画の見直しや国の制度改正に対応するため、附属機関の役割の整理と新たな協議会の設置を行います。

審議内容や役割を変更した附属機関や、新しく設置する附属機関は左の表をご覧ください。

附属機関名	変更事項	
介護保険運営協議会	審議内容	「認知症施策推進計画の策定及び推進」を追加
きさらづ障がい者プラン策定委員会	附属機関名と委員構成変更	「障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画を策定」について審議 福祉関係団体代表→障害福祉の推進のため必要と認められる者
子ども・子育て会議	審議内容と役割を追加	国の制度改正に伴い、子ども・子育て支援事業計画に加え「こども計画」を審議 こども施策に関する協議・連絡調整を行う機能を追加

附属機関名	新設	
地域協働推進協議会	協働による地域づくりの推進について調査・審議し、市長への提言等を行う	①学識経験者 ②関係団体の代表 ③その他協働の地域づくりの推進のため必要と認められる者

議案第23号 木更津市保育士修学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について

保育士確保に向け  
修学資金制度を見直し

保育士を目指す学生に貸し付けている修学資金について、返還免除の条件となる就職までの期間を延長する条例改正です。将来、市内の保育所等で働く保育士の確保を目的に、支援の拡充を図るものです。

どこが変わるのか

これまで、指定保育士養成施設を卒業してから「1年以内」に市内の保育所等へ保育士として就職する必要があったが、改正後は「卒業後1年を経過した日の属する月の月末まで」に就職すれば対象になる。

返還免除の条件は

市内の保育所等で保育士として3年間継続して勤務した場合、貸し付けた修学資金の返還が免除される。

なぜ改正するのか

卒業後すぐに就職できない場合にも対応し、市内で働く保育士の確保に繋げる。

いつからか

令和8年4月1日施行。

議案第27号 木更津市金田駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

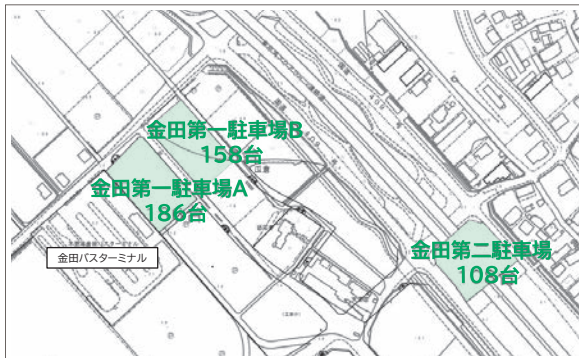
木更津市金田第一駐車場が2つに分割される事に伴い、位置の変更と駐車料金の改定を行うため、条例を一部改正します。

【普通駐車料金(24時間あたり)】

金田第一駐車場	500円
↓	
金田第一駐車場A	500円
金田第一駐車場B	500円

\* 令和8年4月1日の利用から

【新しい位置図】



【定期駐車料金 (ひと月につき1台)】

	これまで		今後
第一駐車場A・B・第二駐車場 共通	4,000円	⇒	6,000円
第一駐車場B・第二駐車場 共通		新設	5,000円
第二駐車場専用	3,000円	⇒	4,000円

\* 令和8年10月1日の購入から

## 発議案第1号 木更津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第17号及び議案第19号は、国の基準に倣い、市職員等に支給する旅費の基準を変更するものである。本発議案は当該両議案が可決されたことを受け、市議会議員についても同様の基準改正を行うために提出されたものであり、全会一致で可決されました。

可決

## 賛否のわかれた議案等をお知らせします

他 22件の議案等は、原案のとおり全会一致で可決・同意しました。

番号	件名	議決結果	吉田眞紀人	吾妻松太郎	松井晃治	藤田真澄	重信文彦	安藤順子	齊藤秀樹	佐藤修一	神蔵五月	堀切俊一	石井徳亮	竹内伸江	重城正義	永原利浩	座親政彦	渡辺厚子	田中紀子	鶴岡大治	近藤忍	大野俊幸	齊藤高根	三上和俊	草刈慎祐	
議案第10号	令和8年度木更津市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第18号	附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-
陳情第1号	「臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出」採択に関する陳情書	不採択	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	-	
陳情第2号	「mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出」採択に関する陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	-	

※表の見方 ○：賛成 ●：反対 -：議長のため採決に加わっていません 欠：欠席

## 主な討論の内容

※市議会だよりに寄せられた市民の皆様の意見・要望により掲載

### 議案第10号 令和8年度木更津市一般会計予算

反対討論

令和8年度当初予算には、吾妻公園文化芸術施設整備など多くの公共事業が予定されている。しかし、最も大切なことは、市民や事業者が直面している物価高に対し支援を行うことである。市民からいただいた税金は、市民生活の向上のために使われるべきと考え、反対。

賛成討論

保育園等の公定価格引上げなどによる扶助費の増額など、必要な財政措置が講じられている。また、駅前新庁舎や吾妻公園文化芸術施設など、事業継続が優先される予算も確保されている、一方で、普通建設事業費の減額など、歳出全体の抑制努力も見られ、限られた財源の中で効率的な予算編成が行われているものと評価し、賛成。

### 議案第18号 附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論

既存の公民館運営審議会は条例改正により木更津市地域協働推進協議会として附属機関に位置付けられた。しかし、これまで地域で学び合いながら公民館運営を支えてきた方々が委員に含まれていない点は問題であり、住民一人ひとりが自由に学ぶことを権利として社会で支えていく仕組みの在り方を問わないままの地域づくり論は避けなければならない。教育委員会から市長部局への移行に伴い、あて職の形骸化を危惧し、反対。

### 陳情第1号 「臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出」採択に関する陳情書

賛成討論

今後、市民の中にも臓器移植を希望する方が出てくる可能性があり、3月4日に開催された教育民生常任委員会での陳情者の話を伺い、自分自身や周りの人が同じ状況になったとき、環境整備が十分でないことはとても不安なことだと感じた。環境整備を国に求めていくことは必要であると考え、賛成。

### 陳情第2号 「mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出」採択に関する陳情書

賛成討論

mRNAワクチン接種後の主な副反応としては、頭痛や発熱などが挙げられる。また、より重大な副反応として、血管迷走神経反射やギラン・バレー症候群などの報告もある。被害者救済制度は設けられているものの、ワクチンとの因果関係が不透明である場合が多いのが現状である。市民の皆さまからも不安の声をいただくことも、一度立ち止まり、議論していただくことが必要であると考え、賛成。

## 新議員紹介

3月29日に行われた市議会議員補欠選挙で当選された新メンバーを紹介します。

おぎの あかね  
**荻野 茜**



- ①住所（事務所）：  
真舟 1-1-8
- ②電話（事務所）：  
080-6506-0684
- ③生年月日：  
昭和51年7月24日
- ④所属会派：自由民主クラブ
- ⑤市議会議員当選回数：1回

## 委員会の所管事項調査

基地政策特別委員会では、所管事項について現地調査を行いました。

特別委員会のメンバーではない議員も、議会全体で情報共有を図る目的で調査に参加しました。

- ・調査日 令和8年3月16日
- ・調査項目 オスプレイの定期機体整備用の格納庫について
- ・調査概要 オスプレイの暫定配備終了後も定期機体整備は行われるため、実際の格納庫を確認しながら、建物の仕様・整備についての説明を受けました。

## 委員会の行政視察

行政視察は、他の自治体が行っている施策等を調査研究し、市民福祉の向上やまちづくり施策に活かそうとするものです。行政視察の調査項目は、委員会の所管事項に関し各委員会で協議して決定しています。

### 議会運営委員会

令和8年1月15日～16日

- ・岐阜県可児市 市民意見反映の取組（市民アンケート、議会報告会）、議会運営サイクル（切れ目のない議会改革）、予算決算審査サイクル（予算審査特別委員会・決算の提言書）、議員間討議について
- ・三重県いなべ市 いなべ市議会の取組について



可児市での視察の様子

可児市議会は、「チーム可児市議会」の理念のもと、個別議員の質問ではなく、委員会としての質問を行うことで、議会全体の意思形成を強めています。また、市民参加型の取組として、高校生議会、ママさん議会、産業フェスへの議会ブースの設置等が行われ、多様な市民の声を政策に組み込んでいきます。視察により市民との対話や説明責任を可視化し、政策形成力を高める必要性を再認識しました。

### 次回6月定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
					5/29 本会議 (開会)	30
5/31	6/1	2	3	4	5	6
			本会議 (一般質問)			
7	8 本会議 (一般質問)	9	10 総務 常任委員会	11 教育民生 常任委員会	12 建設経済 常任委員会	13
14	15	16	17	18 本会議 (議案審議) (閉会)	19	20

3月定例会の傍聴者は延べ20名でした。6月定例会の特別委員会の開催日時は現在未定です。詳しくは、議会事務局（電話23-7185）へお問い合わせください。

#### ●声の市議会だよりについて

視覚障がい者を対象に市議会だよりを録音したCDを貸し出しています。また、市議会ホームページからも「声の市議会だより」をお聞きいただけます。

#### ●本会議のインターネット中継について

本会議の映像（生中継及び録画中継）をインターネットでもご覧いただけます。



URL : <https://www.city.kisarazu.lg.jp/gyouseijoho/shigikai/eizouhaishin/8048.html>

## 地域、社会、未来を見つめ、今できることは

### 市議会議員に5つの質問

令和6年度に引き続き、令和7年12月に新たに発足した木更津市中学校合同生徒会が、木更津市議会と対面による会議を共催しました。

第一部では、Organic Industry Forum in KISARAZU (昨年10月開催) で第3期合同生徒会が行った宣言「わたしたちがつくる、これからの木更津」をもとに、議場で市議会議員に5つの質問をしました。

- ①本市での環境問題や汚染の課題や対応は？
- ②市内の外国人への支援や交流し学び合う取組は？
- ③災害時の避難所で不安を感じやすい人への配慮は？
- ④地域の人と人とのつながりの取組状況や課題は？
- ⑤本市の魅力や魅力発信の取組は？



質問後の答弁に対する感想や意見を述べている

これらの質問に対し、5人の議員が、わかりやすい言葉で2分以内にまとめ、答弁しました。

第二部では、3つのグループに分かれ、中学生としてどのように木更津市のまちづくりへ参画していくか、具体的な取り組みの方向性について生徒同士で意見を出し合いました。



グループ討議のあとの会議

### やり終えてみつけた未来

開催後に届いた合同生徒会の感想を紹介します。

●自分と違う意見の人がたくさんいて、その人と協議をすることで、より意見を深めることができた。

●地域でのつながりや情報の共有の強化が大切だ。

●中学生は地域にとって頼られる存在だと感じた。中学生だからこそできる形で地域に貢献していくための取り組みを行いたい。

テーマ「煌めく木更津とともに 未来へかけるわたしたち」の「かける」には、駆ける、賭ける、描ける、架ける、など

いろいろあると説明があり、それぞれの思いはさらに深まったのではと感じました。



副会長の小林あお衣さん(左)  
会長の重森悠成さん(中央)  
副会長の上和田彩心さん(右)

## 市議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしています

広報委員会は、市民目線に立って「読みやすい、親しみやすい」紙面づくりを目指しており、**スマートフォンからご意見・ご感想を送れるようにいたしました。**(右図参照)

なお、従来通り電話、FAX、メール、郵送でのご提出も受け付けております。

電話) 0438-23-7185 FAX) 0438-22-4734  
メール) gikai@city.kisarazu.lg.jp  
住所) 〒292-8501  
木更津市富士見1-2-1 市議会事務局 宛

### こちら編集会議

合同生徒会の取材をしてとても頼もしかった。自分の学生時代はどうだっただろう。こんなに考えたのだろうか。多くの中学生にも市議会に関心をもってもらえるような紙面づくりを努力しようと思った。

**木更津市議会広報委員会** ●委員長 ○副委員長  
◎佐藤 修一 ○田中 紀子 吉田眞紀人  
吾津松太郎 桜井 晃治 藤田 真澄

### スマートフォンでの ご意見・ご感想の送付手順



①上記のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取る。

②画面に表示されたリンク先をタップ。

③簡単な設問に回答。  
(自由記述できる欄もあります)

④「確認画面へ進む」をタップ。

⑤記載内容を確認したら、「送信」をタップ。

※いただいたご意見等は、市議会だよりに掲載する場合があります。